

人材養成等に関する目的

社会的倫理観と国際的視野を兼ね備え、自然科学に関する深い理解と洞察力に基づいて物理学分野における研究を遂行する能力と高度な専門性を有する人材を養成することを目的とする。関連学術分野における幅広い学識のもとに独創的研究能力と研究指導能力を有する研究者、物理学の専門性を基盤とした教育者の養成も目的とする。

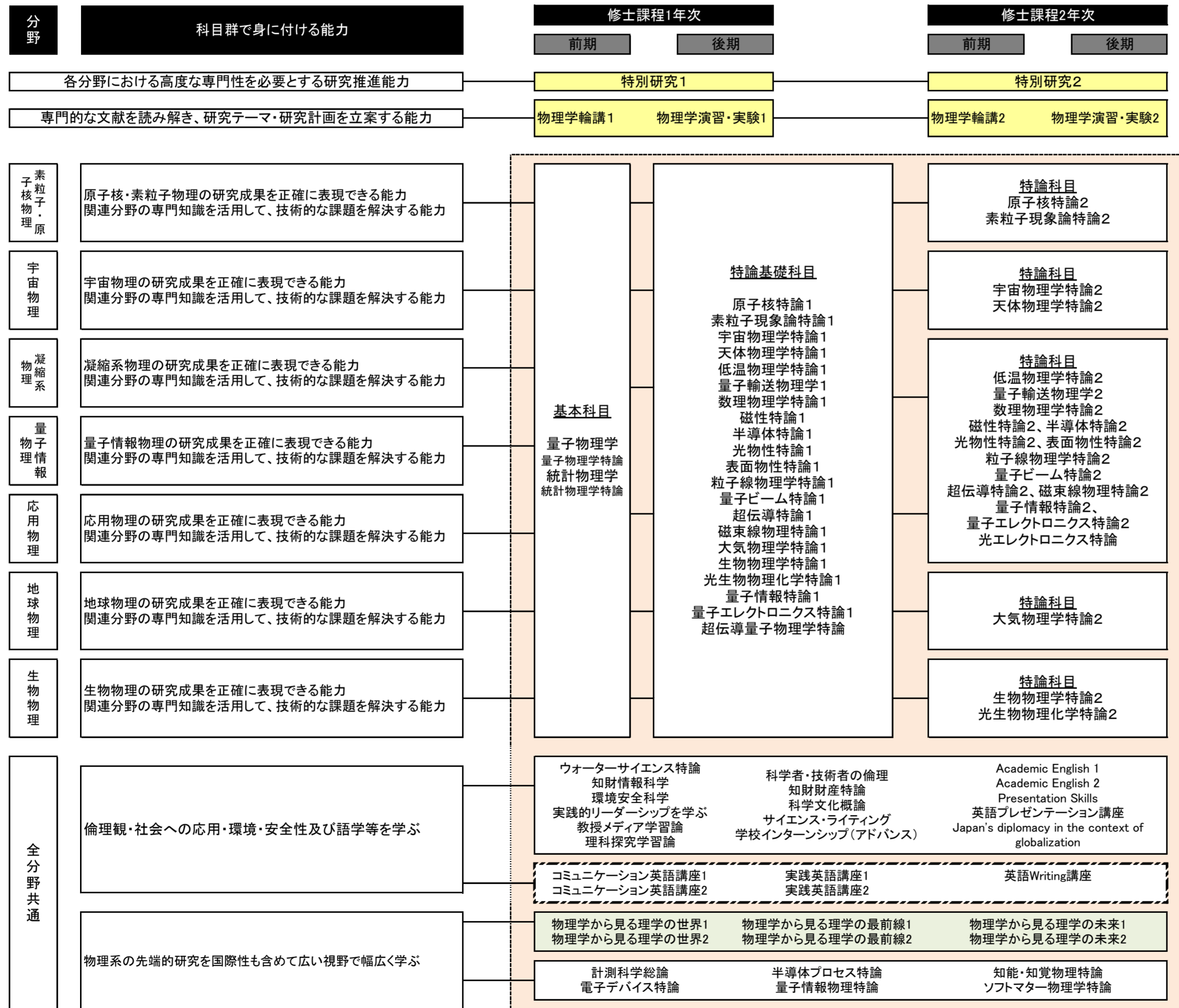
カリキュラム・ポリシー

修士課程においては、学部教育で培った教養・基礎学力・物理学の専門知識を基礎として、幅広い教養を有し、それぞれの専門分野で自ら課題を発見し解決していく研究意欲旺盛な人、又は、高度の専門性が求められる職業を担う人を育成するという目的を実現するために以下の教育課程を編成する。

(1)「専門科目」では、物理学の研究を遂行するのに必要な高度な専門知識を身に付けるために必要な科目、及び専門以外の物理学関連学術分野における幅広い学識を身に付けるための基礎科目を重点的・効果的に配置する。

(2)「一般教養科目」では、コミュニケーション能力、社会的倫理観や国際的視野のような幅広い教養を養う科目を配置する。

(3)「研究指導」では、実験・計算等による研究活動における指導教員との議論を通して、研究遂行に必要な知識と経験を習得させる。また研究成果を学会等での発表、論文の発表を行うことにより、自身の専門性及び課題発見能力を高める教育を行う。



  必修科目   
   選択必修科目   
   選択科目   
   修了要件単位には含まない   
   1年次、2年次を通して履修できる科目